



“一丁啮”^{いっちょかみ}が行く！

第51回：身の丈に合った…

パソコンが世に出てきて30年くらい経ちます。弊社が創業した1981年当時はパーソナルコンピュータという言葉はありませんでしたが、まだパソコンという一般化した言葉は存在せず、マイコンとかパーコンとか言われていました。

そんな時代に「この小さなコンピュータに伝票発行とか会計処理をさせるソフトを作って入れたら売れるのではないか」という単純な発想のもとシスポートが誕生しました。以来現在まで、仕事で使うソフト（主に販売管理系）を開発し提供してまいりました。パソコンの世界からスタートしましたので、シンプルズベストをテーマに出来るだけ安く、それぞれの企業の身の丈に合ったシステムの提供を心掛けてまいりました。

しかしコンピュータの世界は汎用大型機からスタートし小型化の過程でオフコンと呼ばれるものが登場し、中小企業のシステム化に寄与しましたが、もともと大企業向けのシステム開発の延長線上で軽量化されてきた経緯から、いくら小型化されたといってもシステム全体の価格は高く、比較的小規模な中小企業には手が出ない状況でした。

そのような中で、システム化を積極的に推進される中小企業の中には、多少高くてもいいからとオフコンなどの高額なシステムを導入され一定の成果を挙げられたところも少なくありませんでした。

一方、パソコンの発達のはめざましいものがあり、オフコンをしのぐ高性能なハードやソフトが出現し、2000年問題を契機に企業のシステムはパソコンを中心とするものになっていきました。ところが、オフコン系システム会社のパソコンシステムは、従来の価格体系を踏襲するような形で推移し、高額なものが（もちろんそれなりに高性能なものも多いですが…）が多数出回っています。しかし本当にそんな高機能で高額なシステムが自社の身の丈に合っているかどうかという点については、あまり検証もされないまま現在に至っている例も少なくなく、過剰な設備投資をしてしまっているという例が散見されます。

私はそのような実例を数多く見てきました。10数年前から「出前配達にベンツを買っているケースがある」と警鐘を鳴らしてきましたが、現在に至るもその傾向は全くなりそうもありません。何故なのでしょう。

生産管理システムに数千万円掛けておられる例も少なくありませんし、ホームページの構築に月々わずかだという言葉に乗せられて総額百万円以上も支払っておられる方もよく見かけます。請求書発行のためだけに月々10数万円のリース料を払っていたり、月額10万円近くの保守料を払っている例も…。


弊社が注文を欲しいから言うものではありません。あまりにも理不尽なシステム導入がまかり通っている現実、業界人として義憤を感じざるを得ません。『それぞれの企業の身の丈に合ったシステムとサービスの提供』は弊社の経営理念ですが、今一度、自社のシステムを検証されてみては如何でしょうか。

ごぞんじでしたか？


Excel ワンポイントテクニック

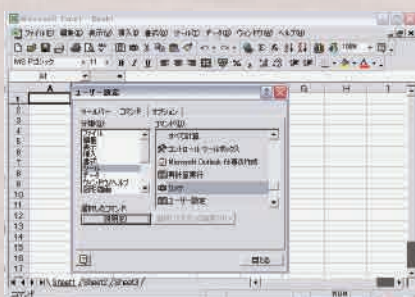
一枚のシートに同じものを二つ作成した場合（例えば、A4の紙にA5サイズと同じ表を二つ作るというような場合）、片方は訂正したけどもう片方の訂正を忘れたなどという経験はありませんか。

「=A1」というようなセルの計算式だと文字や数値はコピーされますが、書式やフォントなどはコピー先で指定し直さなければなりません。しかし、カメラ機能を使えばセルの内容だけではなくフォントや書式もそのままコピーされます。まさに“カメラ”です。こんな便利な機能なのに、何故か残念ながらメニューにもツールバーにもアイコンがありません。

このカメラ機能を使うには、以下の手順で「カメラ」をツールバーに追加して下さい。


【Excel2003 以前】

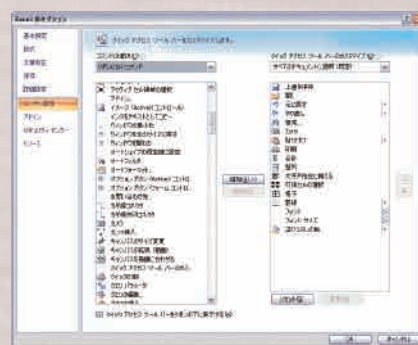
ツール→ユーザー設定
→ツール→「カメラ」
をツールバーにドラッグ
(右図参照)




(Excel2003 以前)

【Excel2007 以降】

Excel のオプション→
ユーザー設定→
「カメラ」をツール
バーに追加 (右図参照)



(Excel2007 以降)

使い方はいたって簡単。コピーしたい範囲を指定をして  (カメラ) をクリックして下さい。そして次にコピーしたい場所をクリックすると、その場所に同じものがコピーされます。

読者 訪問



第27回

お伺いした会社 山城繊維工業株式会社 <http://www.e-y-s.co.jp/>
お目に掛かった方 代表取締役 久村 浩 さん
会社の所在地 〒610-0341 京都府京田辺市薪泥々 50
主な業務内容 プラスチックリサイクル
連絡先など TEL:0774-62-0471(代) FAX:0774-63-6311

今回は当社から距離的に一番近いお客様である、山城繊維工業株式会社様の久村社長をお尋しました。同社は「繊維工業」という社名ですが、プラスチックのリサイクルをしておられる会社で、現社長の久村さんは二代目の社長にあたられます。先代の社長のおじさんがカーテンレースの素材を織機で生産しはじめたのが同社のルーツとか。その後、先代社長が昭和39年に法人設立され現在に至っておられます。法人設立の頃にはすでにプラスチックのリサイクル事業を立ち上げておられたのですが、繊維事業もやっておられたため現社名で法人化されたそうです。20年前くらいまでは繊維事業とプラスチックのリサイクル事業を平行してやっておられたそうですが、その後はプラスチックのリサイクル事業に軸足を移し、今ではそれが100%となっています。食品の包装材として使われるナイロンフィルムの製造過程で出るクズを集めて再生し、粒状のペレットにしてまたフィルム製造の原材料として使ったり他のプラスチック製品の材料として活用するなど、廃プラスチックの再生・再利用を担っておられます。



久村社長

廃プラスチックの処理にお困りの方は是非ご一報下さいとおっしゃっていました。

リサイクルされたプラスチックのペレット

当社とのお付き合いは2年ほど前、ベテラン社員の退職を控えて事務処理の見直しをスタートされたときに始まりました。それまでは、事務コンと呼ばれる伝票発行専用機を使い、納品書や請求書の発行などを行い、それ以外の処理、例えば得意先毎の各種集計や各種帳票の作成はExcelでされていました。事務コンで出来ることが限られていたことから、いろいろな資料や帳票が自由に作れるExcelを活用し、自社独自のシステムを構築されていたのですが、もっぱら担当職員さんの力量に頼っており、その方が退職されたあと、誰がどう引き継ぐかを苦慮されていました。Excelは確かに便利な道具ですが定型的な処理をするには不向きで、どうしても使う者のスキルが必要であり、かつ諸々の手間がかかります。アプリケーションプログラムで処理すれば10分位で終わることがExcelだと半日かかってしまうといったことがよくあります。

そこで、今までベテラン社員の力量に頼っていた処理を見直し、弊社の販売管理ソフト『ぽんぽん』をベースに同社の仕様に合うようにカスタマイズしてご提供させていただきました。事務所内にサーバー機を設置して4台のパソコンで運用できるようにしました。



事務所風景

当初は戸惑いもあったようですが、一担当者に委ねていた業務を一般化することにより社内の意思の疎通が良くなったと久村社長はおっしゃいます。そして、ムダの解消が図れたことにより業務の効率化や経費の削減を図ることができ、各種業務の統一感も生まれてきたとおっしゃいます。

Excelに頼りすぎた社内システムの見直しで業務効率の向上が図れた事例ですが、もっともっとシステムをご活用いただいてプラスチックのリサイクルという社会的にも意義ある業務をなさっている同社がますますご発展されることを願っております。

犬も歩けばサポート日記



事例をご紹介しているコーナーです。シスポートのサポート担当者の奮戦記からなにかヒントを得ていただければ幸いです。



今日の ご相談

販売管理システム『ぽんぽん』をお使いいただいているお客様からご相談がありました。『ぽんぽん』が標準機能として持っている各種データのCSV出力（汎用のテキストデータ形式での出力）を活用しているが、CSVデータをExcelで読み込んだとき、いちいち表組みレイアウトの調整（行間や列幅の調整など）をしなければならず大変面倒なのでなんとかならないかと。



今日の ご提案

『ぽんぽん』はほとんどすべてのデータをExcelなどのソフトで二次加工できるように汎用的なCSVデータで出力できるようにしてあるのですが、Excelで読み込むことを前提に、出力されるExcelの表組みレイアウトを打ち合わせさせていただいてExcelシートとして直接出力出来るような機能を盛り込むことを提案しました。

CSV形式(abc.csv)ではなく、直接abc.xlsというExcelシートの形式で出力するということですね。汎用性を封殺して、Excelでのみ読み込むことを前提とした対応ですが、Excelを良く活用しておられるユーザーにとっては、使い勝手が良くなるいい提案だと思います。

今日の 所感

※後日談 予め出力するデータの種類とレイアウトを打ち合わせの上で直接Excelシートとして出力できるようにしたことで業務効率が向上したと喜んでいただきました。Excelを使ってデータの二次加工をされている方も少なくないと思いますので、『ぽんぽん』の簡単なカスタマイズ事例として、直接Excelシートとして出力するように出来るということをもっとアピールする必要があるかも知れませんね。

